

第 1 2 章 消防本部

第 1 節 消防総務課

〔総括概要〕

消防総務課は、消防総務係・消防団係の 2 係体制で業務を行っている。

消防総務係の主な分掌事務は、消防職員の人事、研修及び福利厚生、広報広聴、消防事務の企画及び調整並びに消防施設の整備及び維持管理である。

職員の研修については、複雑多様化する災害や救急業務など、近年の消防を取り巻く環境の変化に対応できるように、平成 30 年度から分野ごとに対象者を限定する T F E T（Tochigi Fireman Education and Training／栃木市消防職員研修）や専科教育訓練を継続的に実施している。

広報広聴については、ホームページにおいて消防行政に関わる情報を分かりやすく市民に周知するため、消防本部の各種の案内及び応急処置方法等の掲載のほか、整備工事中の消防本部・消防署の進捗状況や救急車の適正利用、住宅用火災警報器の設置等の防災意識の普及啓発に努め、広報活動のより一層の充実を図った。

消防施設の整備については、令和元・2 年度の庁舎整備基本・実施設計を踏まえ、令和 3 年度から消防本部・消防署の庁舎整備工事に着手している。

また、都賀・西方地域の消防分署庁舎を整備するため、（仮称）栃木市消防署北部分署庁舎整備基本設計を策定した。

消防団係の主な分掌事務は、消防団の総括及び連絡調整、消防団施設の整備及び管理、資機材の購入である。

施設等の整備については、組織再編により使用しなくなった器具置場を 2 棟解体した。これらは借地であったため、土地の返還を行うことで維持管理の経費を節減することができた。資機材の購入としては平成 28 年に導入したデジタル簡易無線のバッテリーの更新を実施した。

消防団の訓練等として、栃木市消防団通常点検を実施したほか、平成 26 年以来 8 年ぶりに下都賀支部を代表して栃木県消防操法大会に出場した。出場した都賀第 3 分団は週 2 回の訓練を重ね、技能習熟はもとより団員間の絆を深めることができた。また、公務災害防止のため S－K Y T（消防団危険予知訓練）研修を初めて実施した。

消防団の防災・広報活動については、平時における消火活動等に従事したほか、栃木市消防団の広報誌「火伏」第 6 号を発刊した。また、市内の小学校や高校で消防団の P R 活動を行った。

その他の新たな試みとして栃木市消防団は栃木県が推進する「ながら見守り」を組織的に実践することとし、令和 6 年 1 月に出前講座を 2 回受講した。今後はながら見守りパートナーとして地域の見守り活動を行っていく。

消防総務係

1 消防職員数

(1) 階級別職員数 (4月1日現在・再任用職員除く 単位：人)

階級 区分	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	計
定員	階級別定員なし								204
実員	1	9	29	45	28	39	44	4	199

(2) 所属別職員数 (4月1日現在 単位：人)

階 級 所 属		消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他	計	摘 要
消 防 本 部	消 防 長	1	-	-	-	-	-	-	-	1	
	次 長	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
	消防総務課	-	2	4	3	1	1	-	3	14	栃木県消防学校派遣1
	予 防 課	-	1	4	1	2	3	-	1	12	
	警 防 課	-	1	2	2	-	-	2	-	7	
	通信指令課	-	1	3	3	3	2	1	-	13	
	計	1	6	13	9	6	6	3	4	46	
消 防 署	署 長	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
	消防第1課	-	1	3	8	5	6	7	-	30	
	消防第2課	-	1	3	7	6	3	10	-	30	
	大 平 分 署	-	-	2	6	2	4	6	-	20	
	藤 岡 分 署	-	-	2	6	2	5	5	-	20	
	都 賀 分 署	-	-	2	3	2	4	3	-	14	
	西 方 分 署	-	-	2	3	2	4	3	-	14	
	岩 舟 分 署	-	-	2	3	3	5	5	-	18	
	計	-	3	16	36	22	31	39	-	147	
研 修 職 員		-	-	-	-	-	-	4	-	4	栃木県消防学校入校4
合 計		1	9	29	45	28	39	44	4	199	

(3) 消防職級別職員数 (4月1日現在 単位：人)

区分	8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級	小計
男	1	9	12	17	45	28	48	30	190
女	-	-	-	-	-	-	3	2	5
計	1	9	12	17	45	28	51	32	195

2 消防職員人事

(1) 職員の採用

(単位：人)

職 種	人 員	男	女
消 防	4	4	0

(2) 職員の退職 (単位：人)

職 種	人 員
消 防	2

(3) 消防職員採用試験の実施状況

ア 試験実施状況

実 施 日	内 容
9月17日(日)	第一次試験(筆記試験)実施
10月19日(木)	第二次試験(体力測定)実施
10月25日(水)	第二次試験(面接試験)実施

イ 受験状況

職 種	応募者数 (人)	受験者数 (人)	最終合格者数(人)			実質倍率 (倍)
			男	女	計	
消 防	18	16	3	1	4	4.0

3 消防職員研修

(1) 栃木県消防学校教育訓練

期 間 ([]内は、実日数)	研 修 科 目	参加者数(人)
4月 5日(水)～ 9月20日(水) [115日]	初任教育	4
7月31日(月)～ 8月 9日(水) [8日]	専科教育水難救助科	2
9月25日(月)～10月24日(火) [21日]	専科教育救助科	3
10月25日(水)～12月22日(金) [41日]	専科教育救急科	4
1月15日(月)～ 1月26日(金) [10日]	専科教育警防科	3
1月16日(火)～ 1月24日(水) [7日]	専科教育特殊災害科	3
1月29日(月)～ 2月 9日(金) [10日]	幹部教育初級幹部科	2
2月13日(火)～ 2月27日(火) [10日]	専科教育予防査察科	3
2月14日(水)～ 2月20日(火) [5日]	専科教育危険物科	3

(2) 消防大学学校教育訓練

期 間 ([]内は、実日数)	研 修 科 目	参加者数(人)
6月15日(木)～ 7月14日(木) [25日]	査察マネジメントコース	1

4 職員厚生

健康診断の実施状況

検 診 名	対 象 者	受診者数（人）
一般健康診断	全職員	142
胃がん検診	〃	108
肺がん検診（胸部X線撮影）	〃	130
大腸がん検診	〃	126
前立腺がん検診	50歳以上	9
人間（脳）ドック	30歳以上	55

5 広報関係

ホームページにおいて消防行政に関わる情報を市民に周知するため、消防本部の組織、各種統計、試験・講習会の案内及び応急手当等の掲載のほか、住宅用火災警報器の設置等の防災意識の普及啓発に努め、広報活動のより一層の充実図った。

6 消防施設の概要

（単位：㎡）

区 分	所 在 地	敷 地 面 積	構 造	1 階 床面積	2 階 床面積	3 階 床面積	延面積
消 防 本 部	平柳町 1-34-5	6,685	鉄筋コンクリート造 3階建	1,450	1,020	1,056	3,556
栃木市消防署			鉄筋コンクリート造 3階建	641	330	315	1,286
大 平 分 署	大平町蔵井 2001-2	1,309	鉄筋コンクリート造 2階建	228	65		293
藤 岡 分 署	藤岡町藤岡 81-2	1,312	鉄筋コンクリート造 2階建	266	104		370
都 賀 分 署	都賀町大柿 1529	1,286	鉄筋コンクリート造 2階建	225	65		290
西 方 分 署	西方町金井 293	1,371	鉄筋コンクリート造 2階建	226	63		289
岩 舟 分 署	岩舟町静 5133-1	3,320	鉄骨造2階建	507	272		779

7 消防施設の整備状況

主な業務

（単位：円）

業 務 内 容	金 額
栃木市消防本部・栃木市消防署庁舎整備工事	913,920,015
（仮称）栃木市消防署北部分署庁舎整備基本設計策定業務委託	5,253,600
（仮称）栃木市消防署北部分署庁舎整備に伴う造成設計業務委託	8,140,000

消防団係

1 消防団員数等

消防団組織概要については【別図】組織概要図のとおり

(1) 階級別団員数

(4月1日現在 単位：人)

階級 区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
定員	1	6	37	43	75	76	771	1,009
実員	1	6	37	42	74	75	732	967

(2) 所属別団員数

(4月1日現在 単位：人)

階級 地域等		団 長	副 （団 本部 長）	副 （本 部分 団 長）	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計
団本部	定員	1	6	-	-	-	-	-	-	7
	実員	1	6	-	-	-	-	-	-	7
本部分団	定員	-	-	-	6	12	18	-	-	36
	実員	-	-	-	6	11	17	-	-	34
栃木	定員	-	-	-	12	12	23	32	322	401
	実員	-	-	-	12	12	23	32	305	384
大平	定員	-	-	-	3	3	8	11	96	121
	実員	-	-	-	3	3	8	10	93	117
藤岡	定員	-	-	-	4	4	8	8	112	136
	実員	-	-	-	4	4	8	8	104	128
都賀	定員	-	-	-	4	4	6	7	68	89
	実員	-	-	-	4	4	6	7	66	87
西方	定員	-	-	-	4	4	5	7	63	83
	実員	-	-	-	4	4	5	7	61	81
岩舟	定員	-	-	-	3	3	6	9	95	116
	実員	-	-	-	3	3	6	9	90	111
女性分団	定員	-	-	-	1	1	1	2	15	20
	実員	-	-	-	1	1	1	2	13	18
合計	定員	1	6	-	37	43	75	76	771	1,009
	実員	1	6	-	37	42	74	75	732	967

2 消防車等の態勢

(単位：台)

区分 地域等	消防ポンプ 自動車	小型動力ポンプ 付 積 載 車	指揮連絡車	計
団 本 部	-	-	3	3
本部分団	-	-	6	6
栃 木	17	6	-	23
大 平	8	-	-	8
藤 岡	4	4	-	8
都 賀	4	2	-	6
西 方	2	4	-	6
岩 舟	6	-	-	6
女性分団	-	-	1	1
計	41	16	10	67

3 消防団の活動状況

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながら、可能な範囲で行事や訓練を実施した。

(1) 栃木市消防団の主な行事

ア 栃木市消防団入退団式

- ・実施日 4月9日(日)
- ・場 所 とちぎ岩下の新生姜ホール(栃木市栃木文化会館)
- ・新入団員数 65名

イ 通常点検

- ・実施日 10月29日(日)
- ・場 所 栃木市総合運動公園多目的グラウンド

(2) 訓練等

名 称	実施回数	参加者
新入団員研修	1 回	新入団員
新入団員基礎教育訓練	1 回	新入団員
栃木市総合防災訓練	1 回	岩舟地域
伝建地区防災訓練	1 回	栃木地域
S-KYT研修	1 回	本部分団
上級救命講習	1 回	女性分団
南地域合同訓練	1 回	大平、藤岡、岩舟地域
水防訓練	1 回	岩舟地域
ポンプ運用訓練	10 回	栃木、大平、岩舟地域
ポンプ操法訓練 (栃木県消防操法大会)	33 回	都賀第3分団
ポンプ操法訓練	3 回	栃木地域

放水訓練	15 回	栃木、大平、藤岡、都賀地域
------	------	---------------

(3) 栃木市消防団会議実施状況

名 称	開催日	場 所
第1回本部分団会議	5月12日(金)	国府公民館
第1回団本部会議	5月17日(水)	栃木第四地区コミュニティーセンター
第1回南北会議(北部)	5月30日(火)	吹上公民館
第1回南北会議(南部)	5月31日(水)	静和地区公民館
第2回団本部・本部分団合同会議	8月24日(木)	栃木第四地区コミュニティーセンター
第2回南北会議(南部)	9月7日(木)	岩舟総合支所
第2回南北会議(北部)		国府公民館
第3回栃木市消防団団本部・本部分団合同会議	1月19日(金)	消防本部3階会議室
第3回南北会議(南部)	1月29日(月)	静和地区公民館
第3回南北会議(北部)		消防本部3階会議室

4 消防施設の整備状況

(1) 主な資機材等の購入

品 名	数 量	金額(円)
消防団無線機バッテリー	185個	2,197,800
防火衣	28着	2,303,840
活動服(上下セット)	173着	3,254,130

(2) 主な施設整備等

事 業 名	事業箇所	金額(円)
機械器具置場ガラス修繕工事	泉川町、星野町、大塚町地内	169,840
栃木第7分団空調機修繕工事	入舟町地内	199,100
西方第4分団器具置場給水管修繕工事	西方町真名子地内	121,000
栃木第4分団機械器具置場トイレ修繕工事	神田町地内	176,000
旧西方方面隊第2分団第2部機械器具置場等解体工事	西方町元地内	4,510,000
旧岩舟方面隊第1分団第2部機械器具置場等解体工事	岩舟町静戸地内	2,959,000

5 消防団サポート店登録状況

(1) 業種別

(単位：件)

登録数				
	うち飲食業	うち製造業	うち販売業	うちその他
89	33	2	17	37

※その他は建設業・自動車整備業・葬祭業・美容業等

(2) 地域別 (単位：件)

栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域
40	14	11	8	4	12

6 消防団協力事業所認定状況

(1) 地域別 (単位：件)

栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域
14	5	8	5	0	6

7 広報関係

消防団の存在と活動実績を市民に周知するため、広報とちぎへ記事を掲載したほか、消防団広報誌「火伏」第6号を発刊し、消防団を広くPRした。

【別図】組織概要図

